

# 表紙の写真から

50年後も存続、  
そして、発展し続ける仙北市のために

## 第4回子ども議会

1月11日、市内小中学校11校の代表24人が議員となり、議長に田口悠歩さん（神代中2年）、副議長に杉宮結生希さん（西明寺中2年）の進行で、第4回子ども議会「地域の一人として私たちにできる提言は」が、市役所田沢湖庁舎の議場で開催されました。

各校の児童生徒は、人口減少や少子高齢化、廃校になった学校の有効活用など仙北市が抱える課題に対して、市民意識調査結果などの資料を参考に仮説を考え、仮説に対して検証。それらをまとめた取り組みについて、プロジェクトを活用しわかりやすく提言として提案しました。

いずれの学校も豊かな自然や文化、食を含めた観光資源など仙北市の魅力をPRすることで、定住対策に結びつけようとする提案に対し、市当局からは担当部長が答弁し、子どもたちはまちづくり



各小中学校の代表者がそれぞれ提言しました。

1月11日、市内小中学校11校の代表24人が議員となり、議長に田口悠歩さん（神代中2年）、副議長に杉宮結生希さん（西明寺中2年）の進行で、第4回子ども議会「地域の一人として私たちにできる提言は」が、市役所田沢湖庁舎の議場で開催されました。

各校の児童生徒は、人口減少や少子高齢化、廃校になった学校の有効活用など仙北市が抱える課題に対して、市民意識調査結果などの資料を参考に仮説を考え、仮説に対して検証。それらをまとめた取り組みについて、プロジェクトを活用しわかりやすく提言として提案しました。

いずれの学校も豊かな自然や文化、食を含めた観光資源など仙北市の魅力をPRすることで、定住対策に結びつけようとする提案に対し、市当局からは担当部長が答弁し、子どもたちはまちづくり

ついて真剣に考えている様子でした。

須田教育長から「仙北市には世界や日本に誇れる有数の有形無形の文化財、行事などがあり、今後そのような行事に参加していただきたい。初めのあいさつで鈴木内中学校の浅利麻帆さんから『少しでも私たちができるアクションをしたい』とする話があったが、私たちも皆さんの力を今後生かしていきたい」とあいさつがありました。

また、田口市長からは「皆さんからの今日の提言は、単なる提言ではなく、これから具体的な事業化に向けてさらにレベルアップしていただきたい。そのためには、使うお金に対して効果はどうなのか。主体は誰なのか。同じような事業への影響はどうなのか。ターゲットとなる相手の立場になって、提言をより一層深めていただきたい。これから事業化に向けて進んでいきましょう」とあいさつがありました。



当日の様子は「こちらから」



議長の田口悠歩さん（左）と副議長の杉宮結生希さん（右）。



トミさん（右）にお祝いと花束が贈られました。

### 安藤トミさん

1月10日、安藤トミさん（田沢湖神代）が100歳の誕生日を迎えられ、お祝いが贈られました。

## （百寿）おめでとう ございます

### 鈴木榮子さん

1月2日、鈴木榮子さん（角館町藪田）が100歳の誕生日を迎えられ、お祝いが贈られました。

# 仙北市消防出初式

市民の生命と財産を守るために



新入団員の紹介も行われました。 式典では各章の表彰が行われました。

1月6日、仙北市消防出初式が仙北市市民会館で開催され、団員や関係者などおよそ250人が参加しました。昨年と同様に分列行進や観閲式などは新型コロナウイルス感染症の影響により行われず、式典のみの開催となりました。

式典で田口知明市長は「昨年は、大きな災害はなかったものの、県北では8月の記録的な豪雨の影響で河川氾濫や土砂崩れなどが発生し、多くの県民が命の危険にさらされた。このような現状を真摯に受け止め、日頃から危機管理体制を万全に整えておく必要を改めて痛感した。団員の皆さんには市民と市民生活を守る消防精神を堅持し、一層精進してほしい」と式辞を述べました。

渡辺勇悦仙北市消防団長は「市民の安全・安心を守るため、消防団員はこれからも努力・精進を怠ることなく活動技術に更なる磨きをかけて団員が一丸となって市民の負託にこたえていかなければならない」と訓示を述べました。

- 〈秋田県知事表彰〉**  
【有功章】  
▼柴田尚紀（第1分団）▼池田茂男（第2分団）▼蘭藤道雄（第5分団）▼浅利寿（第6分団）▼若島弘明（第7分団）▼戸澤一広（第10分団）
- 【永年勤続章（40年以上勤続）】**  
▼渡辺勇悦（本部）▼佐藤乃三（本部）▼草薮晃（第8分団）▼伊藤義弘（第4分団）
- 【永年勤続章（35年以上勤続）】**  
▼武藤重和（本部）▼松橋広（第1分団）▼戸村純厚（第4分団）▼佐藤長繁（第4分団）▼菅原誠（第9分団）▼斉藤幸悦（第4分団）
- 【永年勤続章（30年以上勤続）】**  
▼高橋孝行（第1分団）▼田口房好（第3分団）▼佐藤誠進（第4分団）▼三浦誠（第3分団）▼小松健（第8分団）▼辻晴美（第9分団）▼菅原宗弘（第1分団）▼伊藤時秀（第9分団）▼佐々木一人（第8分団）
- 【永年勤続章（25年以上勤続）】**  
▼藤枝誠（第10分団）▼三浦嘉秋（第4分団）▼藤原秀春（第3分団）▼小野昭巳（第7分団）▼羽川広寿（第1分団）▼鈴木一博（第9分団）▼羽川信行（第1分団）▼高橋好則（第3分団）▼藤原智博（第8分団）▼藤原正広（第9分団）
- 【永年勤続章（20年以上勤続）】**  
▼渡辺雅宏（第1分団）▼田口健太郎（第2分団）▼戸澤至（第10分団）
- 【功績章（15年以上勤続）】**  
▼松田朝生（第2分団）▼金子公貴（第3分団）▼田口善之（第2分団）▼稲田慎一（第3分団）▼稲田智博（第3分団）▼黒沢明（第3分団）▼藤原洋祐（第4分団）▼藤村誠（第4分団）▼八柳健太（第5分団）▼佐々木太茂（第5分団）▼小林浩明（第6分団）▼浅利司（第6分団）▼金谷雅俊（第6分団）▼鎌川卓也（第7分団）▼皆川勝（第8分団）▼高村友和（第8分団）
- 【無火災分団】**  
▼第3分団（1年間無火災）
- 【優良分団】**  
▼第4分団（大仙仙北美郷支部消防訓練大会 小型ポンプ操法の部 第3位）
- 【感謝状】**  
▼元分団長 新山仁 ▼出口・柴倉・上真崎野自主防災会
- 〈秋田県消防協会〉**  
【功労章（30年以上勤続で日本消防協会功績及び精進を受けていない団員）】  
▼佐藤勇榮（第4分団）
- 【勤続章（10年以上勤続）】**  
▼田口大樹（第2分団）▼荒木田祐太郎（第3分団）▼藤川篤（第4分団）▼高橋洋（第4分団）▼菅原真之介（第4分団）▼上藤良太（第7分団）▼戸澤潤（第7分団）▼水平隆行（第10分団）
- 〈秋田県消防協会 大仙仙北美郷支部長表彰〉**  
【精進章（7年以上勤続）】  
▼田口暢成（第2分団）▼川越祥太（第1分団）▼高橋佐門（第3分団）▼田中薫（第3分団）▼阿部大地（第6分団）▼門脇良太（第6分団）▼阿部峻之（第6分団）▼佐藤信一（第7分団）▼高橋清郁（第8分団）▼鈴木清人（第9分団）▼青柳光範（第9分団）▼石郷岡敏行（第9分団）
- 〈仙北市消防団長表彰〉**  
【精進章（3年以上勤続）】  
▼菊地貴博（本部）▼浅利大賀（第1分団）▼塚本浩司（第2分団）▼佐藤直久（第2分団）▼坂本敏明（第3分団）▼佐々木成永（第3分団）▼鈴木裕樹（第4分団）▼大沢和輝（第4分団）▼若松繁（第5分団）▼浅利和行（第5分団）▼田中豪（第6分団）▼園部拓也（第6分団）▼佐々木徹（第8分団）▼太田征岐（第8分団）▼高橋文哉（第8分団）▼高橋将太（第8分団）▼山形皇平（第9分団）

表彰受章者（敬称略/所属）

華麗な演奏が聴衆を魅了

### 平かずみとスイングチェリーズ 新春ライブ

1月15日、仙北市民会館自主事業として「平かずみとスイングチェリーズ新春ライブ」が同館のステージ上で開催されました。

このライブは、少人数でも楽しめるロビーコンサートで、冬期間はロビーに外気が入り寒いことから、ホールのステージ上にステージと客席を設けての開催予定でしたが、ステージ上に収まらない観客のためホールも開放しての開催となりました。

当日は、第一部でジャズのクラシックナンバー「愛さずにはいられない」、「思い出のグリーン・グラス」、ディスコナンバー「愛のコリーダ」、「ダンシンググリーン」などを演奏。第二部では、演奏に加えヴォーカルが「津軽海峡冬景色」や「危険なふたり」、「渡良瀬橋」などが披露されました。会場を



数々の名曲が演奏されました。

訪れた観衆は、心にしみわたる味わいのある演奏を楽しんでいました。

出演した「スイングチェリーズ」は、昭和36年に旧角館町役場職員が楽器同好会「ド・ダンスターズ」として結成。昭和42年には新バンド名を募集し「スイングチェリーズ」と改名し一昨年には結成60年を迎え、大曲仙北地域を中心に演奏活動をしています。

### 人権擁護委員が委嘱されました

1月1日付で法務大臣から次の方が委嘱されました。

- 田口陽三（田沢湖）… 再任 ※敬称略
- 黒澤福子（角館）… 再任
- 千葉悟見（角館）… 再任

委員の任期は3年で、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動や、人権相談などを積極的に行っています。

【問合せ】秋田地方法務局大曲支局 ☎0187-63-2100

### 栄光・表彰 ~輝くとき

各分野の発展に貢献

## 仙北市 技能功労者表彰

善意ありがとうございます  
若鮎応援プラン事業に  
寄付金を  
いただきました

小・中学生進学時および高校生進級時支援に役立てて欲しいと仙北市出身の草薨正利様から申し出があり、88万円のご寄付をいただきました。このご寄付を原資として「若鮎応援プラン祝金事業」を今年度も行います。この事業は、生活困窮世帯に卒業祝金として小学校6年生に2万円、中学校3年生に4万円、新たに進級祝金として高校1年生および2年生に2万円を支給し、進学準備などに役立ててもらうことを目的としています。対象となるご家庭には1月下旬を目処に申請方法のご案内を送付しています。

草薨様からは、今後とも寄付を継続したいとの意向をいただいております。未来を担う子どもたちのためにこの事業を通じて活用させていただき

このほど、卓越した技能を有する仙北市技能功労者表彰者の選考会が開催され、1月11日に3人の方々に表彰が行われました。受賞者は、各業界団体などが個人を推薦し、大曲仙北職業訓練協会や仙北市商工会、秋田県仙北建設業協会などで構成する選考委員会を経て決定しました。受賞者は次のとおり。

### 栄光・表彰 ~輝くとき

## 小松・東前郷地区環境保全協議会が受賞

### 仙北地域振興局 「元気なふるさと秋田づくり 顕彰事業」

「小松・東前郷地区環境保全協議会」は平成19年から農業環境の保全・向上を目指す景観形成活動の取組として、平成21年度からは内陸線応援も兼ねて田んぼアートを実施しており、積極的に他の地域へのノウハウの教示や種苗の交換などを行い、内陸線の車窓から

12月22日、仙北地域振興局で令和4年度仙北地域振興局「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」表彰式が開催されました。仙北市からは心豊かな生活を目指して活動している「小松・東前郷地区環境保全協議会」がこれまでの活動実績が認められ表彰されました。

「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」とは、よりよい地域をつくるため、地域固有の様々な課題の解決に向けて、自立的・主体的な活動を行っている方々を「元気なふるさと秋田づくり」の実践者として表彰し、この表彰を通して地域づくり活動の活性化を図り、多くの県民がこうした活動に参加できるように普及・啓発を図ることを目的としています。



受賞した小松・東前郷地区環境保全協議会の伊藤裕明会長（左）と仙北地域振興局の齋藤正和局長（右）。

見える田んぼアートの作成などを行ってきました。またそのほかにも、田んぼアートを被災地へ贈呈する支援米贈呈や、地元小学校との連携による田植え・稲刈り体験、内陸線沿線にサルビアなどの花を植える景観の向上活動なども行い、県内外から高い評価を受けています。

表彰式に出席した伊藤裕明会長は「本日の顕彰を励みに組織内交流はもちろんのこと、他地域との交流の場も更に広げていけるよう頑張っていきたい」と話しました。

分野：建築技術  
藤村敏郎さん  
(72歳 田沢湖岡崎)



昭和41年に同地域の佐藤工務店に師事し、在来工法の技術を習得後、昭和48年に藤村建築を設立。代表者として現在に至ります。

サシガネと呼ばれる定規で木造の接合部分を作り上げる規矩術に長け、50年以上の経験によって培われた技術は業界から高く評価されています。また、これまで3人を育て上げ、競技大会に出場させるなど、後進の技術の育成にも取り組んでいます。

神代技能組合では、役員を務め、業界の発展に大きく貢献されています。

分野：建設施工管理技術  
武蔵一美さん  
(73歳 西木町門屋)



昭和51年に角館建設工業(株)に入社し、斎藤川流路工事業や秋田新幹線踏切安全対策に係るオーバブリッジ工事などに現場代理人として携わり、多数の技術を習得、1級土木施工管理技士などの資格を取得しました。平成10年には優秀施工者として建設大臣より顕彰されるなど、その確かな技能は業界内からも高く評価されています。

後継者の育成にも意欲的に取り組む、平成6年にはその功績が認められ、秋田県知事表彰を受賞しました。

現在は、(株)山建設工業の管理部長として卓越した知識と経験を生かし、力を注いでいます。

分野：建設重機技術  
霧田司さん  
(68歳 西木町小淵野)



昭和47年、角館建設工業(株)に入社し、重機オペレーターの技能を習得。同社に約50年間勤務しており、国道105号道路委託業務では、老朽化した道路や構造物の修繕工事のほか災害時の道路復旧や冬季の除排雪作業に尽力し、優れた運転技術で特殊機械のオペレーターとして市民の利便性向上と安全確保に貢献されています。

近年進歩している新しい機械から旧式機械まであらゆる機械の操作方法と施工手順を若手職員に継承するために、積極的な技術指導するなど後進の育成にも尽力されています。